

業種別景況予測

2025年1月～3月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	10～12月 (実績)	1～3月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「余裕はないが、コロナ禍からの回復が少しだがみられる。(毛布製造業)」「先行き不透明。(毛布製造業)」「商品の動きが鈍く、生産量が減少。(織物業)」など、先行き不透明とのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「景気の低迷により、商品の動きが鈍く、受注量が減少傾向。(繊維資材販売業)」「暖冬と物価高により、景気は悪化。(ニット等検品業)」「生産量が激減。先行き不安。(婦人服製造業)」とのコメントが寄せられた。			
工業			「受注量が低下。資材等の値上がり止まらず収益は減少傾向。(鉄鋼業)」「外注コスト・資材費が高騰。価格転嫁したいが、なかなかできていない。(機械器具設置修理業)」とのコメントが寄せられた。			
建設			「受注はあるが、資材不足・職人不足により、仕事が進まない。(建設業)」「人手不足や原材料仕入価格の上昇により、利益には結びつかない。(塗装業)」「人手不足が続いている。特に若手が来ない。(警備業)」など、人手不足・資材不足に対するコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「求人募集をしても、人が集まらない。(配送業)」「コンプライアンスが厳しく、人手不足も相まって、何ともしがたい状況。(運輸倉庫業)」「全体が低迷しているため、この景気では賃上げは困難。国策にて、経済に刺激を与えるなど、改革を要望。(倉庫業)」とのコメントが寄せられた。			
金融理財			「繊維関連の業種は苦戦している印象。全体的に仕入値、人件費、燃料費等が高騰しており、売上を維持しても利益率が減少。(金融業)」「高い物と安い物の差が激しくなってきた。(不動産賃貸業)」「顧問先の高齢化により廃業や解散が増加。顧問先が減少。(土業)」などのコメントが寄せられた。			
一般商業			「不景気の影響か、趣味への投資額が減っているように思う。(娯楽用品小売)」「米・野菜など食材高騰の影響で、嗜好品の買い控えに繋がっているように思う。(菓子製造小売)」「インフルエンザの大流行で患者が急増し、売上は伸びたが、薬不足が続く入荷が遅れ、苦労している。(調剤薬局)」「一般医薬品は、スーパードラッグの進出で売上が減少。(医薬品販売)」などのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「値上げをしたが、野菜の高騰や原材料の更なる値上げで追いつかない。(飲食業)」「業界的には、右肩上がり売上も順調だが、コロナ融資の返済が重くのしかかっている。(教育事業)」「仕入れ価格の上昇が止まらず、収益が激減。(飲食業)」「円安の影響で、海外旅行が敬遠されている。(旅行業)」など、原材料高騰・円安に対するコメントが寄せられた。			

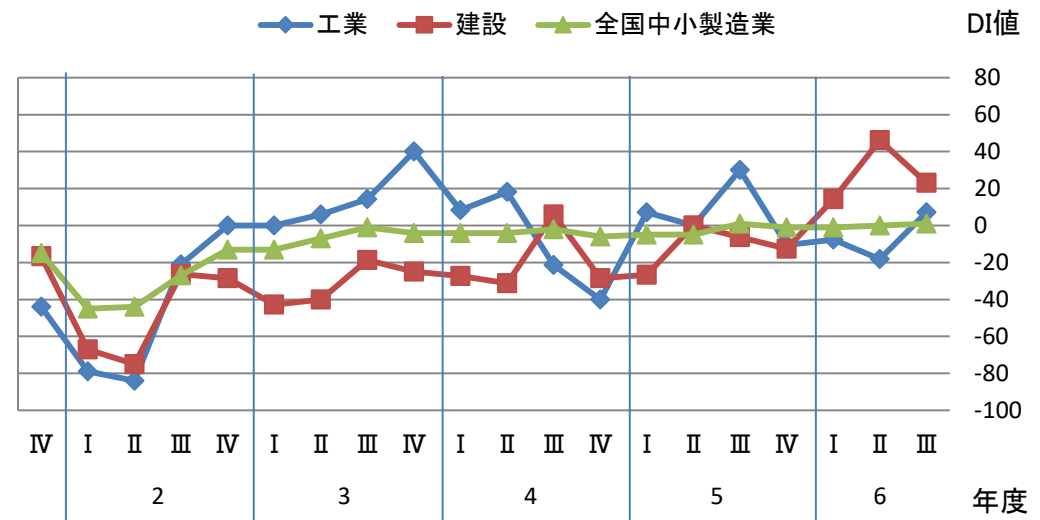
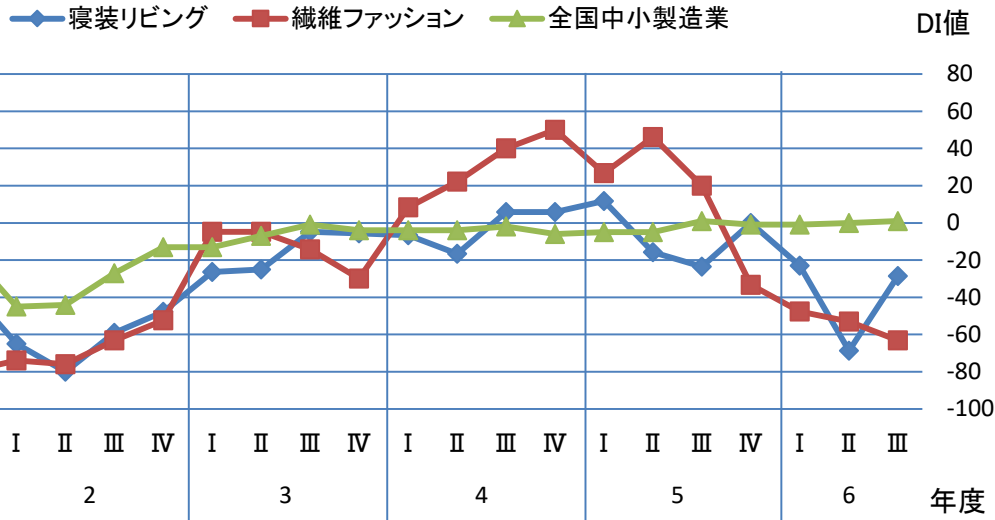
(調査概要) ●調査実施 令和7年1月 ●調査対象企業 285社 ●回答数 129社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

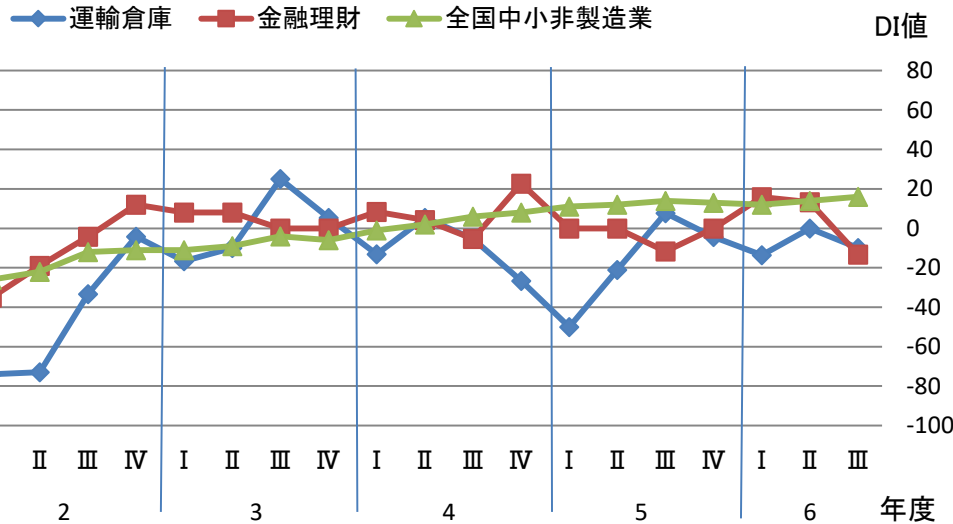
前年同期と比較

泉大津の全産業のDI値は前年同期に比べやや悪化。業種別にみると、建設業については改善、工業・サービス商業は横ばい、運輸倉庫業・金融理財業・一般商業はやや悪化、寝装リビング業・繊維ファッション業はきわめて悪化となったが、個別差がある。



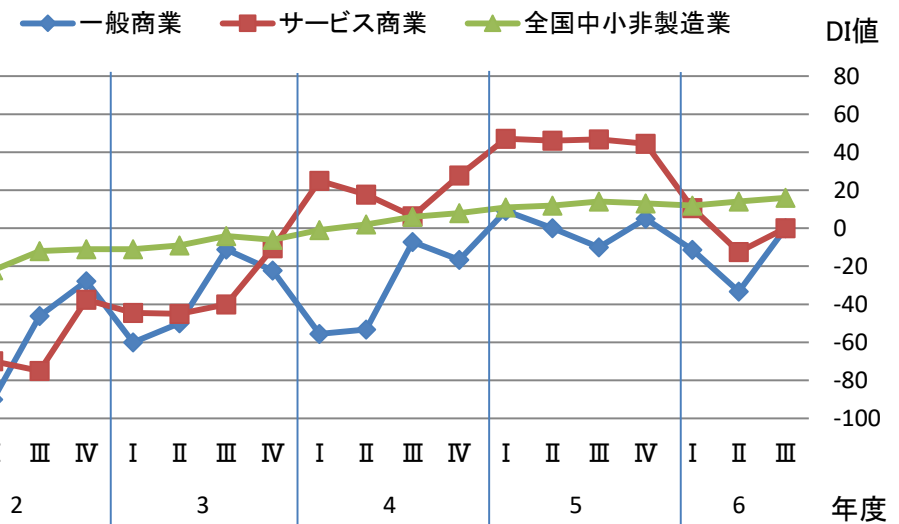
前年同期と比較

売上高について、繊維ファッション業は減少傾向、寝装リビング業は回復傾向にあるが、何れも、製品の動きが鈍く、生産が減少となっている。



前年同期と比較

売上高について、建設業・工業とも大きく変わりはないが、仕入価格・加工単価の上昇が止まらず、収益が減少となった。特に、建設業の人手不足が問題。



前年同期と比較

売上については、両業種とも大きく変わりはないが、経費の増加で利益は減少傾向。運送業については、運転手の確保が困難で、今後の売上への影響が懸念される。

前年同期と比較

売上については、両業種とも回復傾向。引き続き、仕入れ価格の上昇が止まらず、収益は悪化傾向にある。

※DI値: 売上状況の回答 (増加-減少=DI値)

※R2.3 新型コロナウイルス感染症拡大

I = 第一四半期 (4~6月)

II = 第二四半期 (7~9月)

III = 第三四半期 (10~12月)

IV = 第四四半期 (翌年1~3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。